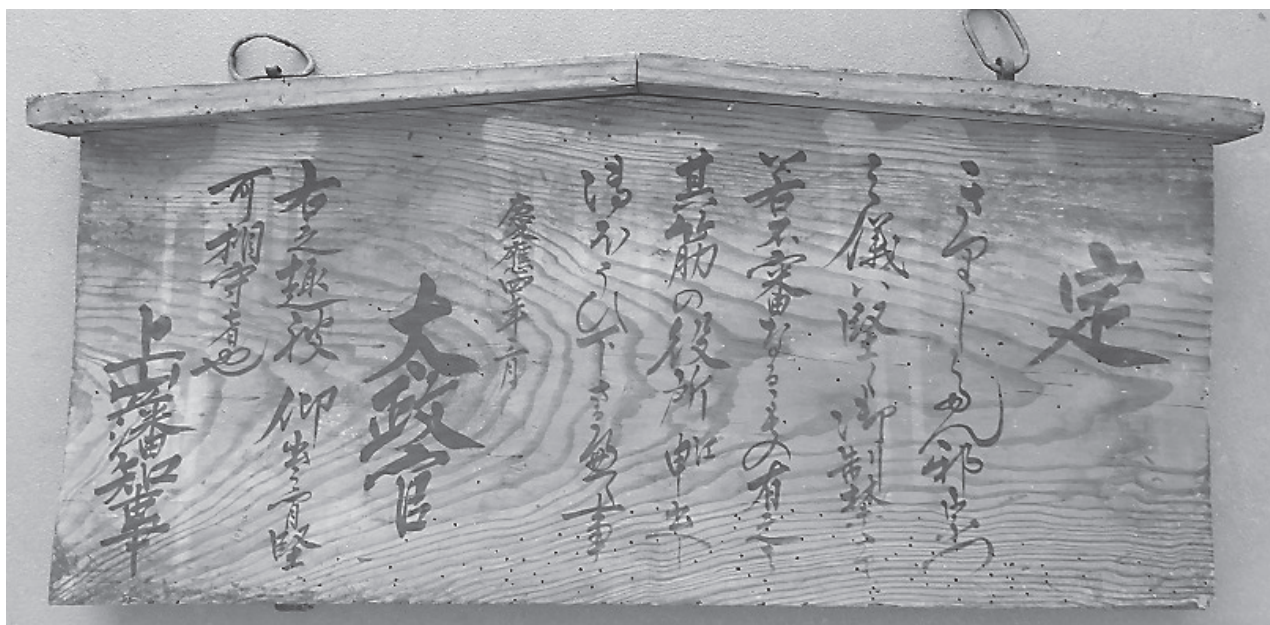


## 平成25年度特別企画展から

## 「見た、聞いた、動乱の幕末・維新 ～越後に伝えられた情報～」

文書館では、平成25年10月22日（火）～11月4日（月）の期間、特別企画展「見た、聞いた、動乱の幕末・維新～越後に伝えられた情報～」を開催し、19世紀後半の変動する社会の情報はどのような経緯で、どのくらいの時間差で、どのくらいの正確さで地方に伝わっていたのか、当時の情報伝達を追ってみました。これらの当館所蔵文書はすべて伝聞によるものであり、当事者としての生々しさには欠けますが、客観的に事件の広がりや推測できるものばかりでした。展示資料から代表的な資料をご紹介します。



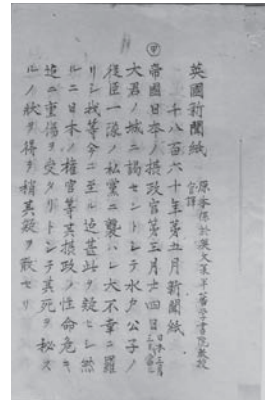
こうさつ ごぼう けいじ

高札（五榜の掲示）慶応4年（E1315）

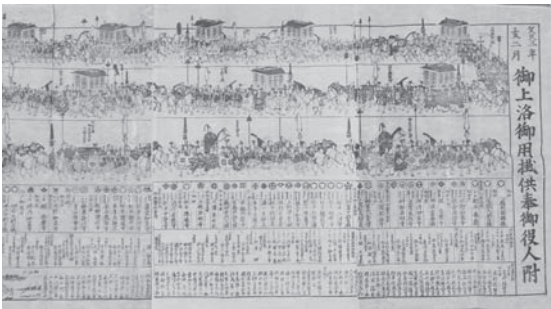
「五榜の掲示」と呼ばれる5枚の高札です。明治政府の政治方針「<sup>ごかじょう</sup>五箇条の御誓文」の翌日に公布されました。<sup>ごりんどうとく</sup>五倫道德の遵守（第一札）、<sup>ととう</sup>徒党・<sup>ごうそ</sup>強訴・<sup>ちょうさん</sup>逃散の禁止（第二札）、キリスト教の禁止（第三札）、<sup>ごうそんだっそう</sup>外国人殺傷の禁止（第四札）、<sup>ごうさつば</sup>郷村脱走の禁止（第五札）ですが、その内容は旧江戸幕府の民衆統制を継承したものでした。しかしキリスト教禁止は諸外国から強い抗議を受けて撤去されます。高札は幕府時代から村や町の人通りの多い場所に高札場を建てて掲示し、村等で管理していました。戦国時代以降、法令や規則などを庶民に伝える手段として広く利用されてきた高札ですが、明治に入るとその姿を消していきました。

●『英国新聞紙』万延元年（F18-1158-10）

万延元年（1860）5月に神奈川で発行された英字の新聞に取り上げられた日本の状況などを日本語に翻訳したものです。5つの事件・状況を掲載しています。そのひとつが「大老が襲われた。重傷であることを発表した<sup>たいろう い いなおすけ</sup>が、死亡したことを秘している。」として、大老井伊直弼が江戸城桜田門外で襲撃されたが、死亡したことは隠されている、という記事です。大老の暗殺は極秘事項であったにもかかわらず、その情報は秘かに市中に流れ出ていたようです。当時日本に滞在していた外国人もその情報を得ていたものと考えられます。



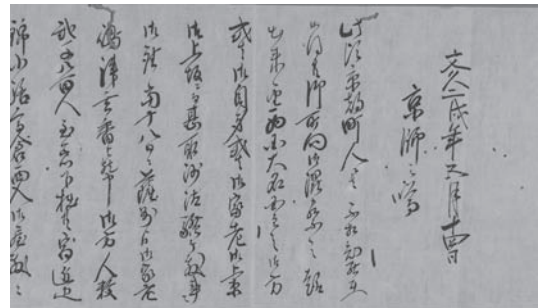
●『御上洛行烈図』文久3年以降（E9903-182）



第14代将軍徳川家茂<sup>とくがわいえもち</sup>が、文久3年（1863）2月に上洛したときの行列を描いた刷物絵で、本屋販売されました。描かれているお供の数は500人余で、主だった家来の名前や役職が記されています。端折傘に覆われ、大きな駕籠に乗っているのは将軍家茂ですが、名前は記されていません。末尾には、江戸日本橋から京都二条城までの上洛経路の宿場名が記されています。付き従う家来は、将軍護衛のためであり、有事には戦闘体勢をとれるよう隊列を組んだ軍装の行列になっています。

●〔寺田屋騒動を伝える書状〕文久2年5月14日（F18-1393-6）

この書状は「文久二 成年五月十四日京師之噂<sup>けいし</sup>」と題されています。文久2年（1862）4月20日と25日に大坂から発送した書状は、5月3日と5日に越後国中頸城郡田村新田の笠原家に到着しました。笠原家ではこの2通の書状を書き写し、「京師の噂」と題して書き残したようです。京都伏見の船宿寺田屋において、薩摩藩尊攘派が弾圧された事件の聞き書きで、文中には「甚だ騒がしいことなり」と緊迫の状況を呈してきた京都・大坂の様子や、慌ただしい各藩の動向を記しています。



●『風聞書』慶応3年（E1012-141・142・143）



大政奉還から王政復古、戊辰戦争に至るまでの通達や触書、報告などが書き写されています。記録を残した村上藩領三王湊村<sup>さんのおうち</sup>の庄屋が直接見聞きしたものではなく、見聞した人からの聞き書きです。鳥羽伏見の戦いに加わった兵士や戦いを目撃した飛脚<sup>ひきやく</sup>などから戦いの様子を聞き、書き留めています。越後に関係した内容では、慶応4年（1868）4月から始まった北越戊辰戦争についてまとめたものが圧巻です。情報源は探索人や陣屋詰めの庄屋など様々ですが、時局が変化していく情報を多方面から取得していたことがわかります。

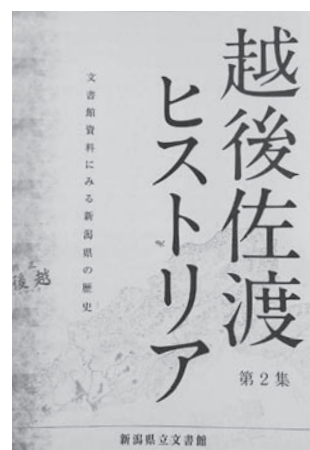


## 特別企画展で展示した主な資料

| “変革期”を映し出す出版物                                                                    | 日本の夜明け、開国                                        | 激動の文久・元治期                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 〔弘化2年江戸大火〕<br>『鯨太平記混雑ばなし』<br>〔五ヶ国御貿易場〕<br>『千代のさかえ』<br>『和英通韻以呂波便覧』<br>『吉田松陰東北遊日記』 | 『亜墨利加応接書（乾・坤）』<br>『亜墨利加使節拝礼之節口上之趣和解』<br>〔ハリス肖像画〕 | 〔書状〕（天狗党について）<br>〔八月十八日政変ほか〕<br>〔天誅組について〕<br>〔新発田藩征討日記〕（天狗党追討） |
| “禁門の変”を伝えた書状                                                                     | 戊辰戦争・明治維新                                        | 世評、いろいろ                                                        |
| 〔秋田藩士より聞合の趣書留〕<br>〔桑名より柏崎役所へ来状写〕<br>〔泉州堺より庄内行き日切飛脚八兵衛より聞取〕                       | 〔奥羽越略軍記〕<br>〔蛾術楼日記〕<br>〔戊辰日暦〕                    | 〔新評〕<br>〔見聞要書〕<br>〔江戸での風評〕<br>〔文久耳聞輯録〕                         |

## 越後佐渡ヒストリアを冊子として刊行しました

ホームページ上のコンテンツ「越後佐渡ヒストリア」を、昨年に続き、冊子として刊行することとなりました。「越後佐渡ヒストリア」は、文書館所蔵資料の中から新潟県に関係する興味深い題材を掲載しています。今年度も、新潟県内の小・中・高等学校、図書館、公民館に送付を予定しています。4月以降、県立文書館閲覧室でもご希望の方に無料で配布しておりますので、ぜひご覧ください。（数に限りがあります。）



### 平成25年3月以降に掲載した「越後佐渡ヒストリア」の内容

|                                           |                                           |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 第26話 京都に散った勤王志士 本間精一郎                     | 第35話 楽器税新設顛末<br>～昭和初期の財政再建とピアノ調査～         |
| 第27話 出るか!? 宝の水 草生水<br>～越後のオイルラッシュ～        | 第36話 “大仏さま”が新潟市にも安置されていた！                 |
| 第28話 黒姫神社の綾子舞                             | 第37話 紫金牛の投機ブームと新潟県の取締り                    |
| 第29話 ～来たれ！生徒諸君～ 弥彦の明訓学校                   | 第38話 「僕は則ち遠遊して後に学を博す」<br>～吉田松陰の越佐滞在記～     |
| 第30話 幕末維新の英傑たちと眠る長谷川鉄之進                   | 第39話 文明開化の裏側で～ちょんまげ哀愁譚～                   |
| 第31話 蒲原地域の伝説のアンチヒーロー<br>黒鳥兵衛              | 第40話 文明開化は蒲原からも始まる！！<br>—長崎仕込みの西洋の生活スタイル— |
| 第32話 西蒲原で最も早くマゲを切った男。<br>—眼科医の日記から—       | 第41話 謙信は「馬鹿者」がお好き？<br>～書状から紐解く人物像～        |
| 第33話 お出迎えはつらいよ—御巡幸の舞台裏—                   | 第42話 梵鐘を銃砲に鋳直す<br>～幕末にもあった金属供出令～          |
| 第34話 旅に病む人を送る「村送り状」<br>—安全安心だった江戸時代の庶民の旅— | 第43話 手習い手本になった訴状<br>～幕府を巻き込む大騒動・信越国境論争～   |

※平成26年2月19日現在

## 平成26年度上半期の文書館主催講座のお知らせ(予定)

### ○古文書解読講座 13:30～15:30 (2時間)

| 講座名                       | 期 日               | 会 場      | 定員   | 申込開始日    |
|---------------------------|-------------------|----------|------|----------|
| はじめての古文書講座 (春季) A         | 5月14日(水)・5月21日(水) | 文書館共同研修室 | 15名  | 4月22日(火) |
| はじめての古文書講座 (春季) B         | 5月16日(金)・5月23日(金) | 文書館共同研修室 | 15名  |          |
| 初級へのステップアップ<br>古文書講座 (夏季) | 6月6日(金)           | 文書館大研修室  | 30名  | 5月13日(火) |
| 古文書初級解読講座 (夏季)            | 6月20日(金)・6月27日(金) | 文書館大研修室  | 60名  | 5月30日(金) |
| 古文書解読講座 (夏季)              | 7月18日(金)・7月25日(金) | 文書館ホール   | 180名 | 6月25日(金) |
| はじめての古文書講座 (秋季) A         | 9月10日(水)・9月17日(水) | 文書館共同研修室 | 15名  | 8月20日(水) |
| はじめての古文書講座 (秋季) B         | 9月12日(金)・9月19日(金) | 文書館共同研修室 | 15名  |          |
| 初級へのステップアップ<br>古文書講座 (秋季) | 9月26日(金)          | 文書館大研修室  | 30名  | 9月5日(金)  |

※はじめての古文書講座 (春季) (秋季) A・Bは同じ内容で実施

### ○文書館教養講座 13:30～14:30 (1時間)

| 講座名        | 期 日      | 会 場    | 定員   | 申込開始日    |
|------------|----------|--------|------|----------|
| 第1回文書館教養講座 | 4月23日(水) | 文書館ホール | 180名 | 3月19日(水) |
| 第2回文書館教養講座 | 8月21日(木) | 文書館ホール | 180名 | 7月22日(火) |

※第3回目以降は、12月、1月、2月を予定

### ○文書館歴史講座 13:30～15:00 (1時間30分)

| 講座名        | 期 日      | 会 場    | 定員   | 申込開始日    |
|------------|----------|--------|------|----------|
| 第1回文書館歴史講座 | 7月12日(土) | 文書館ホール | 180名 | 6月12日(木) |

※第2回講座は12月を予定

### 新潟県立文書館は学校教育を支援しています

新潟県立文書館では、中学校の職場体験学習や大学生のキャリアインターンシップを積極的に受け入れています。今年も新潟市立鳥屋野中学校、新潟市立石山中学校の生徒と新潟大学の学生が職場体験学習、インターンシップを行いました。また、授業などで利用する資料の相談もお受けしていますので、お気軽に当館にご連絡ください。



編集・発行 **新潟県立文書館**

〒950-8602 新潟市中央区女池南3-1-2

TEL.025-284-6011 FAX.025-284-8737

URL.<http://www.archives.pref.niigata.jp/>

E-mail. [archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp](mailto:archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp)